



▶目次

MyScope機能を使用してオシロスコープをカスタマイズする
マウスの右クリックでスピード・アップ
発生頻度の低いグリッチや異常波形を取込む6
ピーク・ディテクト・モードで低速信号に発生する高速グリッチを検出する
ハイレゾ・モードで低速信号に発生する微小変動を検出する
OpenChoice®波形解析で作業のスピード・アップ9
拡張トリガ機能を使用してトラブルシューティングを効率化する
ラント・トリガおよびトランジション・トリガを使用して問題箇所を特定する
ビデオ・トリガを使用してビデオ回路の設計開発を効率化する
拡張演算機能を使用して生産性を向上する13
信号の周波数スペクトラムを素早く確認する14
パワー解析ソフトウェアを使用して電源測定を容易にする
ジッタ解析ソフトウェアを使用してジッタ解析を効率化する
リミット・テストを使用してコンプライアンス・テストを効率化する
テレコム・マスク・テストを使用してシリアル通信規格に対する コンプライアンスを確認する

▶ MyScope[™]機能を使用してオシロスコープをカスタマイズする

MyScopeでは、使用頻度が高いメニュー・コントロールをいくつかのコントロール・ウィンド ウにまとめることができます。これにより、日常的に使うオシロスコープの操作性が格段に向 上します。頻繁に使用する機能だけを集めて、自分専用のコントロール・ウィンドウを構成で きるため、繰返し行う測定などにおいてスピード・アップが図れます。



MyScopeの使用方法

- 1. [MyScope]メニューを選択します。
- 2. [New Control]ウィンドウを選択します。
- 3. 目的のコントロールを選択します。
- 選択したコントロールを、タブが 表示されているウィンドウまでドラッグ します。
- 5. 必要に応じてタブに名前を付けます。
- 6. 作業が完了したウィンドウに名前を付け、 保存します。
- 使用するには、[MyScope]メニューを 選択し、上記の名前のMyScope ファイルを選択します。

▶マウスの右クリックでスピード・アップ

マウスの右クリックにより、直感的な方法でオシロスコープを操作でき、マウスだけで素早く容易に波形 取込みを行えます。右クリックで表示されるメニューは、クリックする場所により、表示される選択肢が 変わります。たとえば、トリガのリードアウト上で右クリックすると、トリガ・コントロールのメニュー が表示されます。また、波形番号を右クリックすると、波形関連のメニュー項目が表示されます。 たとえば、垂直軸コントロール、メジャメント、色、波形保存などです。



右クリックの方法

- 1. 変更するアイテムを右クリックします。
- 2. 表示されるメニューから、目的の項目を 選択します。

▶発生頻度の低いグリッチや異常波形を取込む

TDS5000Bシリーズ・デジタル・フォスファ・オシロスコープ(DPO)は、最大100,000波形/秒 という連続波形取込みレートを誇り、発生頻度の低いグリッチやイベントを高い確率で取込 むことができます。高速な波形取込みレートに加え、ヒストグラム表示機能が装備されてい ますので、回路の性能を素早く把握できます。TDS5000Bシリーズでは、一般的なデジタル・ オシロスコープでは見逃してしまうような障害を短時間で発見することが可能です。



FastAcq/DPOの使用方法

- 1. 紫色のFastAcqボタンを押します。
- 2. 実際に波形に発生している現象を 確認します。

▶ピーク・ディテクト・モードで 低速信号に発生する高速グリッチを検出する

ピーク・ディテクト・モードでは、比較的低速な信号の波形に発生する高速パルスやグリッチを素 早く検出できます。このモードでは、常に最大サンプル・レートを使用するため、どの掃引速度の 設定でも1nsに満たないような幅の狭いグリッチを検出できます。



ピーク・ディテクト・モードの使用方法

- メニュー・バーの直下にある アクイジション・モードのリードアウトを 右クリックします。
- 2. [Peak Detect]を選択します。

または

- 1. [Horiz/Acq]メニューを選択します。
- プルダウン・メニューから[Acquisition]を 選択します。
- 3. [Peak Detect]を選択します。

▶ハイレゾ・モードで低速信号に発生する微小変動を検出する

ハイレゾ・モードでは、垂直分解能を上げ、低周波信号からノイズを除去できるため、作業性が よくなります。ローパス・フィルタの遮断周波数は、画面に表示されるサンプル・レートの1/2で す。結果的に得られる垂直分解能は、サンプル・レートによって異なりますが、最大で12ビット になります。



ハイレゾ・モードの使用方法

- メニュー・バーの直下にある アクイジション・モードのリードアウトを 右クリックします。
- 2. [HiRes]を選択します。

または

- 1. [Horiz/Acq]メニューを選択します。
- 2. プルダウン・メニューから[Acquisition] を選択します。
- 3. [HiRes]を選択します。

▶ OpenChoice® 波形解析で作業のスピード・アップ

TDS5000Bシリーズでは、Microsoft Windowsオペレーティング・システムの環境を利用で きます。Windowsデスクトップにアクセスできるということは大きな長所です。Windows付 属のワードパッド、ペイント、Webブラウザを使用すると、オシロスコープを操作しながら測 定データをさまざまな形で記録できます。また文書化や解析のために、Microsoft Word、 Excel、MATLAB、LabVIEWなどのアプリケーションをインストールできます。さらに電子 メールによる情報交換、ネットワーク・プリント、ファイルの共有も可能です。



OpenChoiceでExcelを使用する例

- Excelのツールバーを使用して、 波形データをExcelのスプレッド・シート に直接転送します。
- 2. データを解析し、図表化します。
- 3. 必要に応じて、ドキュメントやレポートに Excelのデータを貼付けます。

▶拡張トリガ機能を使用して トラブルシューティングを効率化する

TDS5000Bシリーズが備えている拡張トリガ機能は、ミッドレンジのオシロスコープの中で も特に優れたものです。このトリガ機能を使用すると、波形イベントを素早く、簡単に取込む ことができ、トラブルシューティングの効率化が図れます。



拡張トリガ機能の使用方法

- 1. タッチ・スクリーンで、[Trig]メニュー・ ボタンを押します。
- プルダウン・メニューから目的の トリガ機能設定を選択します。または、 [Trigger Setup]を選択し、設定メニュー 全体を表示します。
- 3. トリガの詳細を設定します。

または

 トリガのリードアウト上で右クリックし、 簡素化されたトリガ・メニューから新しい トリガ・パラメータを選択します。

► ラント・トリガおよびトランジション・トリガを使用して 問題箇所を特定する

ラント・トリガまたはトランジション・トリガを使用すると、設定したロジック・レベルを超え ないパルスや、立上り時間や立下り時間が長すぎるパルスをパルス列から検出できます。これ により、問題の原因となっている部分で直接トリガをかけることができます。



ラント・トリガまたはトランジション・トリガの使用方法

- 1. [Trig]メニュー・ボタンを選択します。
- プルダウン・メニューから[Runt]または [Transition]を選択します。
- 3. 詳細を設定します。

▶ビデオ・トリガを使用して ビデオ回路の設計開発を効率化する

TDS5000Bシリーズは、NTSC、PAL、SECAM、アナログHDTVなどのトリガ機能を備えた 広範囲なビデオ・フォーマットをサポートしています。IREおよびmV単位の目盛が選択できま すので、測定や目視検査が簡単になり、ビデオ回路の設計開発に最適なツールとなります。

Eile	<u>E</u> dit	<u>V</u> ertical	Horiz/Acq	Irig	<u>D</u> isplay	<u>C</u> ursors	Mea <u>s</u> ure	<u>M</u> ath	<u>U</u> tilities	<u>H</u> elp	
ek	Stopped			418 Acqs			06	Aug 01 11	6:22:08	-	Buttons
-1									<u> </u>	Ĩ	Line No
8	,					et e i ta i an ante		in an de la contraction			odd 39
4										1	rig Holdoff
2	'										8.35ms
1-				hhhh	استيسوه ا						
Chy	143r	nγ		YVYYYY	₩¥.	M 2.0us 25	OMS/s 4	.Ons/pt			
						A Yideo	Uh1				
-4	10 <u></u>		nater and								
 A	Event	A->B S	eq BEve	ent	Mode	A:Vi	deo Acqu	iire			
	Event	A->B S — Trig	eq BEve ger Type —	ent	Mode	A:Vi Sourc	deo 🔸 Acqu e	iire — Trigg	jer On —		deo Trigger
	Event	A->B S — Trig	eq BEve gerType — Width	ent Pattern	Mode	A:Vi Sourc Ch 1	deo → Acqu e ▼	iire — Trigg Lin	ler On — e # ■		deo Trigger
	Event	A->B Si — Trig	eq BEve gerType — Width	ent Pattern	Mode	A:Vi Sourc Ch 1 Forma	deo → Acqu e v t	iire — Trigg Linu Odd	ler On — e # ▼ 139 •		deo Trigger
	Event	A->B Si — Trig	eq BEve ger Type — Width Jul ansition	Pattern Pattern State	Mode	A:Vi Sourc Ch 1 Forma 525i/NTS	deo → Acqu e vt c v	iire — Trigg Lini Odd	ler On — e # ▼ I 89 [‡]		deo Trigger
	Event Edge Glitch	A->B Si	eq BEve ger Type — Width hansition http://www.	Patter n Patter n State State	Mode	A:Vi Sourc Ch 1 Forma 525i/NTS Autose	deo → Acqu e v t c v	iire — Trigg Lim odd	ler On — ■ # ▼ 39 ■ doff —		deo Trigger
	Event	A→B Si — Trig Tri Tri Tri	eq BEve ger Type — Midth ansition Imeout	Pattern Pattern State State	Mode	A:Vi Sourc Ch 1 Forma 525i/NTS Autose Lines	deo → Acqu e v t C v	iire — Trigg — Lin Odd — Hol	er On — e # V 189 • doff — ime V		deo Trigger Polarity Normal V Gratius
	Edge	A→B Si — Trig Tri Tri	eq BEve ger Type — Width ansition imeout	Pattern Pattern State Setup/Ho Setup/Ho	Mode	A:Vi Sourc Ch 1 Forma 525i/NTS Autose Lines	deo → Acqu e v t C v et	ire Trigg Lin odc Hol By T	er On		deo Trig Polarit Normal Graticul

ビデオ・トリガの使用方法

- 1. [Trig]メニューを選択します。
- 2. [Video setup]を選択します。
- 3. [Source]と[Format]の各オプションを 選択します。
- [Autoset]で目的のメニュー・ボタンを 押します。

▶ 拡張演算機能を使用して生産性を向上する

拡張演算や測定機能が、オシロスコープに標準で装備されていますので、お客様の作業効率が 飛躍的に向上します。TDS5000Bシリーズには、数式エディタやMath-On-Math機能が用意 されています。その他にも、数多くの拡張演算機能を備えています。

Ello.	Eair	vertical	Horiz/Acq	<u>T</u> rig	Display	⊆ursors	Mea <u>s</u> ure	M <u>a</u> sks	Math	MyScope	Utilitie	s <u>H</u> elp	
Tek	Run	Hi Re:	s	26	i40 Acqs			2	3 Jul 04	10:53:54		Run	on
						Ŧ						Baa	01
f	11	8.1.8	1111	111	- 8 A i	l• <u></u> ±···	111	111	11	111	∦ −€[Math1 Positi	10
	11	111	111	140				. 6 . 8 . 0				40 0mdiv	
Ë	11 11	RUR	A A A A	t ji ji	1111	し借おり	L ALA IN	N JI B	144	ARA.	┟╻╣╹	- Personan	
1+	u ų v	1001	1040	U U	uuu	uter ()	u u u u	JU Q	994			Math1 Scal	e
M1+	+++++	+++++	++++++		+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	╷┋╷ ╷	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +		+ + + +		++=	50.0m?	
Ē						.圭.							
						_≣_1							
	61 2	- OV					M 1 Ous	SO OMS&	20	Operat	Ē		
Ē							A Runt	Ch1	. 20	Correspic			
Þ	lath 1 5	0.0m?	1.0µs		. <u>.</u>	<u>Ŧ.</u>					E		
I Tin													
	ne F	req M	leas Var		Math 1	▼ 📼	Ch1*(Ch	1<0)					
	ne F	req M	leas Var		Math 1	V	Ch1*(Ch	1<0)			_		
A	verade	ireq M Invert	leas Var Log 1(Math 1		Ch1*(Ch	1<0) 1e	←	Bksp	→	Clear -	
A	verage	ireq M Invert	Log 10		Math 1		Ch1*(Ch	1<0) 1e Operani	← ds —	Bksp	→	Clear -	
A	verage Verage	ireq M Invert -y	Log 10		Math 1		Ch1*(Ch	1<0) 1e Operant	← ds —	Bksp	→ 0	Clear -	
Â	verage Verage	ireq M Invert	Log 10		Math 1	▼ IIII Ch Math	Ch1*(Ch Hom Ref	1<0) 1e Operant +	← ds — (Bksp 7 8	→ 9	Clear - Avgs	
A 	verage Verage	ireq M Invert	Log 1(Log 1(Log y Log e		Math 1	▼ ■ Ch Math Chann	Ch1*(Ch Hom Ref	1<0) 1e Operant +	← ds (Bksp 7 8	→ 9 6	Clear - Avgs	
A	verage ÿ ntegral ∫ydt	ireq M Invert -Y Sqrt _ √y	Log 10 Log 10 Log y Log e Log e		Math 1	Ch Math Chann	Ch1*(Ch Ham Ref el	1<0) Ne Operant +	← ds ()	Bksp 7 8 4 5	→ 9 6	Clear - Avgs Apply	
	verage ÿ ntegral ∫ydt	ireq M Invert -y Sqrt _ √y	Log 10 Log 10 Log y Log y Log e		Math 1	Ch Math Chann 01	Ch1*(Ch Hom Ref el 2	1<0) Ne -	← ds ()	Bksp 7 8 4 5	→ 9 6 3	Clear - Avgs Apply	
	verage ÿ ntegral ∫ydt rivativ <u>e</u>	invert Invert -γ Sqrt √γ Exp	Log 1(Log 1) Log y Log e Ln y More		Math 1	Ch Math Chann O1	Ref el 2	1<0) Deran +	← ds ()	Bksp 7 8 4 5 1 2	→ 9 6 3	Clear - Avgs Apply Cancel	
	ne F verage ÿ ntegral ∫ydt rivative dv∠n	ireq M Invert -¥ Sqrt ô Exp	Log 1(Log 1) Log y Log e Ln y More		Math 1	Ch Math Chann ⁰ 1	Ch1*(Ch Hom Ref el 2 2 4	1<0) Deran +	← ds () DHS	Bksp 7 8 4 5 1 2 tore 0	→ 9 6 3	Clear - Avgs Apply Cancel	

拡張演算機能の使用方法

- タッチ・スクリーンで[Math]メニュー・ ボタンを選択します。
- 2. 必要に応じて、数式エディタなどの 演算機能を選択します。
- 3. 演算を入力します。
- 4. [Apply]を押します。
- この例の数式は、波形の中でグランド・ レベル未満の部分を強調表示し、測定する ためのものです。

▶ 信号の周波数スペクトラムを素早く確認する

TDS5000Bシリーズの高速フーリエ変換(FFT) 演算機能では、波形データを時間対振幅の表示から、周波数対振幅の表示に変換できますので、信号に含まれる周波数成分を素早く把握できます。この機能は、ノイズ源の特定、フィルタの評価、クロストークの検出など多くの問題の解決に役立ちます。



FFT機能の使用方法

- 1. [Math]メニューを選択します。
- 2. [Magnitude Spectrum]を選択します。
- 3. 結果を確認します。

▶パワー解析ソフトウェアを使用して電源測定を容易にする

TDS5000Bシリーズが持つ演算機能や、Math-On-Math機能などの高性能で柔軟な測定機能 は、電圧、電流、瞬時電力、電源装置設計者が求めるエネルギーなどの電源測定に最適です。 さらに、電源に関する広範な測定のためのオプションとして、パワー解析用ソフトウェア TDSPWR3が用意されています。



パワー解析ソフトウェアの使用方法

- 1. [File]メニューを選択します。
- 2. [Run Application and Power Measurements 3]を選択します。
- アプリケーションがロードされ、 コントロール画面が表示されますので、 [Power Device Analysis]から目的の 測定内容を選択し、[Run]を押します。

▶ ジッタ解析ソフトウェアを使用してジッタ解析を効率化する

TDS5000Bシリーズとジッタ解析ソフトウェアTDSJIT3を組合わせると、ジッタとタイミングの解析に 必要な測定が行えます。このソフトウェアを使用すると、被測定装置の接続を変更せずに、オシロスコー プ上ですべてのジッタ解析が行えますので、手間をかけずに正確なジッタ測定環境を構築できます。この オプション・ソフトウェアによって、TDS5000Bシリーズは、業界で最も広い用途を持つ正確なジッタ測 定装置となります。このソフトウェアは、ジッタの発生原因を効率的に特定するために、ジッタを定常成分 とランダム成分に分解する機能を備えており、基本的な測定機能との組合わせにより、優れた測定環境を 実現しています。

Lie				Tura	Disbid &	2013013	neasure	ngala	maur	музсоре	Ucilicies	Teih	
Tek	Previe	W		1	Acqs			2	6 Jul 04	15:13:22			Buttons
1.0		8.Umv					M 40.0µs	s 5.0GS/s	IT 5	0.0ps/pt			Duttoris
				5.5.1 1 1.			a on a	0.01				Posi	tion
2		مسلم	سکسر ا	1	1	- -		1	<u>ا</u>	1		35.	0%
						1						F	
		1				Ŧ						rac	
						Ŧ						51	10
1*						-							
E						Ŧ							
N ²	oom 1	: Ch1				Ŧ							
	0.011	- optonue	°∼	Sam.		Y-	لسهر	5	- S	μ,	~~		
13 F													
<u>199 -</u>	ile <u>M</u>	easurem	ients <u>R</u> es	sults j	<u>P</u> lot <u>L</u> o	ig <u>U</u> tility	<u>H</u> elp	Т	DSJ	IT3 Jitt	er Analys	sis	_ ×
All S	ile <u>M</u> tatistics	easurem Min/Ma	ients <u>R</u> es × Mean/Ste	sults j dDev 1	<u>P</u> lot <u>L</u> o TIE:RjDj -	ig <u>U</u> tility BER	' <u>H</u> elp	Τ	DSJ	IT3 Jitt	er Analys	sis 🚺 Pi	L X
All S	ile <u>M</u> tatistics	easurem Min/Ma leasureme	ients <u>R</u> es x Mean/Sto :nt Sou	sults dDev 1 roes	Plot <u>L</u> o TIE:RjDj - Star	ig <u>U</u> tility BER tistics	r <u>H</u> elp Current Acq	T	DSJ.	IT3 Jitt	er Analys	sis Pi Se	_ X
All S	ile <u>M</u> itatistics	easurem Min/Ma leasureme k Period1	ients <u>R</u> es × Mean/Sto int Sou Ch1	sults dDev 1 roes	Plot <u>L</u> o TIE:RjDj - Sta Popula	ig <u>U</u> tility BER tistics tion 4	r <u>H</u> elp Current Acq 1001	1 A 4001	DSJ. I Acqs	IT3 Jitt	er Analys	sis Pl Se V	_ X
All S	ile <u>M</u> itatistics	easurem Min/Ma leasureme k Period1	nents <u>R</u> es IX Mean/Sto Int Sou Ch1	sults dDev 1 roes	Plot Lo TIE:RjDj - Sta Popula Mean	ig <u>U</u> tility BER tistics tion 4	r <u>H</u> elp Current Acq 1001 0.00s	1 A 4001 0.00	DSJ. I Acqs	IT3 Jitti	er Analys	sis Pi Se V	_ X lots elect iew
All S	ile <u>M</u> tatistics Cloc Cloc	easurem Min/Ma leasureme k Period1 k TIE1	nents <u>R</u> es x Mean/Sto nt Sou Ch1 Ch1	sults dDev 1 roes	<u>Plot L</u> o TIE:RjDj - Sta Popula Mean Std Dev	ig <u>U</u> tility BER tistics tion 4	Current Acq 0001 0.00s 22.294ps	4001 22.29	DSJ I Acqs 5 4ps	IT3 Jitt	er Analys	is Pi Se V Me	L X
All S	ile <u>M</u> itatistics Cloc Cloc	easurem Min/Ma leasureme k Period1 k TIE1 k PLL TIE	nents <u>R</u> es x Mean/Str nt Sou Ch1 Ch1 1 Ch1	sults dDev 1 roes	Plot Lo TIE:RjDj - Star Popula Mean Std Der Max	ig Utility BER tistics 4 tion 4 v 2 7	 Help Current Acq 001 0.00s 22.294ps 75.290ps 	4001 22.29 75.29	DSJ I Acqs s 4ps Dps	IT3 Jitt	er Analys	sis Pl Se V Mex	Lots elect iew asure Single
All S 1> 2> 3> 4>	ile <u>M</u> itatistics Cloc Cloc	easurem Min/Ma easureme k Period1 k TIE1 k PLL TIE	nents <u>R</u> es (Mean/Str Ch1 Ch1 1 Ch1	sults i dDev 1 roes	Plot Lo TIE:RjDj - Star Popula Mean Std Dev Max Min	ng Utility BER tistics 1 tion 4 v 2 7	Current Acq 0001 0.00s 22.294ps 75.290ps 56.015ps	A 4001 0.00 22.29 75.29 -56.07	DSJ I Acqs s 4ps Dps 5ps		er Analys	sis Pi Se V Me. Xun/Stop	Lots elect iew asure Single
All S 1> 2> 3> 4> 5>	ile <u>M</u> itatistics Cloc Cloc	easurem Min/Ma leasureme k Period1 k TIE1 k PLL TIE	nents <u>R</u> es Mean/Sto Ch1 Ch1 1 Ch1	sults dDev 1 roes	Plot Lo TIE:RjDj - Star Popula Mean Std Dev Max Min Pk-Pk	ng Utility BER tistics 4 tion 4 v 2 7 7	Current Acq 001 0.00s 22.294ps 75.290ps 56.016ps 131.30ps	A 4001 0.00 22.29 75.29 -56.07 131.3	DSJ I Acqs s 4ps 0ps 6ps 0ps		F	siis Pi Se V V Me: Xun/Stop Clear	Lots elect iew Single Single New Acq
All S All S 2> 3> 4> 5> 6>	ile <u>M</u> Statistics Cloc Cloc	easurem Min/Ma leasureme k Period1 k TIE1 k PLL TIE	nents <u>R</u> es Mean/Sto Ch1 Ch1 1 Ch1	dDev 1 roes	Plot Lo TIE:RjDj - Star Popula Mean Std Dev Max Min Pk:Pk Max + -	g Utility BER tistics ν 2 ν 2 ν 2 ν 2 ν 2 ν 2 ν 2 ν 2 ν 2 ν	Current Acq 6001 0.00s 22.294ps 75.290ps 56.015ps 131.30ps 34.077ps 55.075ps	A 4001 0.00 22.29 75.29 -56.0 ⁴ 131.3 34.07	DSJ I Acqs 5 4ps 0ps 6ps 0ps 7ps		F	sis Pl Se V Me. Xun/Stop Clear	Lots elect iew sure Single Rew Acq
All S All S 2 > 3 > 4 > 5 >	ile M itatistics Cloc Cloc	easurem Min/Ma leasureme k Period1 k TIE1 k TIE1 k PLL TIE	Nents Res Mean/Sto ont Sou Ch1 Ch1 1 Ch1	sults dDev 1 roes	Plot Lo TIE:RjDj - Star Popula Mean Std Dev Max Min Pk-Pk Max + -	g Utility BER tistics ν 2 ν ν 2 ν 4 Δ Δ 2 ν 4 Δ 2 ν 4 Δ 2 ν 4 2 ν 4 2 ν 4 2 ν 4 ν 4 2 ν 4 ν 4 ν	Current Acq 4001 0.00s 22.294ps 76.290ps 56.015ps 131.30ps 34.077ps 35.275ps	A 4001 0.00 22.29 75.29 -56.0° 131.3 34.07 -35.27	DSJ I Acqs s 4ps Dps 6ps Dps 7ps 5ps		F Analys	sis Pl Se V Me. Run/Stop Clear	L X lots slect saure Single X

ジッタ測定ソフトウェアの使用方法

- 1. [File]メニューを選択します。
- 2. [Run Application and Jitter Analysis 3]を選択します。
- 目的のジッタ測定を選択し、 [Run]を押します。

▶リミット・テストを使用して コンプライアンス・テストを効率化する

リミット・テストでは、ユーザが定義した垂直と水平の許容範囲を持つ理想的なリファレンス 波形と実際の測定波形を比較します。この機能は、長時間の信号監視に便利で、発生した障害 の情報をメモリに保存したり、プリンタで印刷できるほか、警告音を発して波形取込みを停止 させることもできます。



リミット・テストの使用方法

- 1. [Masks]メニューを選択します。
- 2. [Limit Test Setup]を選択します。
- 3. 既知のリファレンス波形を元に テンプレートを作成し、リファレンス・ メモリに保存します。
- 4. [Compare]および[Test options]の 各オプションを設定します。
- 5. [Limit Test]で[On]を選択します。
- テンプレートから逸脱した信号が 検出されると、指定したアクションが 実行されます。

▶テレコム・マスク・テストを使用して シリアル通信規格に対するコンプライアンスを確認する

TDS5000Bシリーズは、マスク・パターンのカスタマイズ機能を備えています。またオプションSM型は、シリアル通信規格に対するコンプライアンスを検証するためのマスク・パターンを提供します。マスクは最高555Mbpsの電気規格と最高1.25Gbpsの光学規格に対応しています。1ボタン操作のマスク・オートセット、オートフィット、ユーザ調整可能なマスク・マージン許容値、ヒット・カウント、障害通知機能、付属マスクの編集機能などを使用して、必要に応じてマスク・テストをカスタマイズできます。



マスク・テストの使用方法

- 1. [Masks]メニューを選択し、[Mask setup] を選択します。
- 2. 目的のマスク・タイプを選択します。
- 3. [Source]と[Tolerance]の各オプションを 選択します。
- [Pass/Fail setup]で、障害が発生したときの動作を選択します。
- 5. [Pass/Fail test]で[On]を選択します。
- 6. [Pass/Fail Results]に表示される結果を 確認します。

Tektronix お問い合せ先:

アメリカ 1 (800) 426-2200 アメリカ (輸出販売) 1 (503) 627-1916 **イタリア** +39 (02) 25086 1 インド (91) 80-22275577 **英国およびアイルランド**+44 (0) 1344 392400 オーストリア +43 2236 8092 262 **中央ヨーロッパおよびギリシャ** +43 2236 8092 301 オランダ +31 (0) 23 569 5555 カナダ 1 (800) 661 5625 スウェーデン +46 8 477 6503/4 スペイン +34 (901) 988 054 大韓民国 82 (2) 528-5299 台湾 886 (2) 2722-9622 中華人民共和国 86 (10) 6235-1230 デンマーク +45 44 850 700 ドイツ +49 (221) 94 77 400 東南アジア諸国/オーストラリア/パキスタン (65) 6356-3900 日本 81 (3) 6714-3010 ノルウェー +47 22 07 07 00 **フィンランド** +358 (9) 4783 400 ブラジルおよび南米 55 (11) 3741 8360 フランスおよび北アフリカ +33 (0) 1 69 86 80 34 ベルギー +32 (2) 715 89 70 ポーランド +48 (0) 22 521 53 40 香港 (852) 2585-6688 **南アフリカ** +27 11 254 8360 メキシコ、中米およびカリブ海諸国 52 (55) 56666-333 ロシア、その他の旧ソ連共和国およびバルト海諸国 +358 (9) 4783 400 その他の地域からのお問い合わせ: Tektronix, Inc., USA 1 (503) 627-7111 Last Update August 13, 2004

S)

Copyright © 2004, Tektronix, Inc. All rights reserved. Tektronix製品は、米国およびその他の国の取得 済みおよび出願中の特許により保護されています。本文書は過去に公開されたすべての文書に優先します。 仕様および価格は予告なしに変更することがあります。TEKTRONIXおよびTEKは、Tektronix, Inc.の 登録商標です。その他本書に記載されている商品名は、各社のサービスマーク、商標または登録商標です。 11/04 opus 3GZ-18004-0





東京都港区港南2-15-2 品川インターシティ B棟6階 〒108-6106 製品についてのご質問・ご相談は、お客様コールセンターまでお問合せください。

TEL 03-6714-3010 FAX 0120-046-011 電話受付時間/9:00~12:00·13:00~19:00 月曜~金曜(祝日は除く)

当社ホームページをご覧ください。http://www.tektronix.co.jp/ お客様コールセンター ccc.jp@tektronix.com